

健康

肝がんの原因 肝炎ウイルス

質問

50歳の男性です。職場の健康診断で肝機能が悪いと分かり、肝炎ウイルス検査を勧められました。酒はほとんど飲みません。検査を受けたほうがいいですか。肝炎ウイルスが肝臓がんの原因になると聞いて不安です。



立木 佐知子

徳大病院肝疾患
相談室看護師

回答

肝臓病はアルコールをたくさん飲む人のイメージがあるかもしれませんが。しかし、日本人の肝臓病の原因の80%は肝炎ウイルス、残り20%がアルコールや薬剤、脂肪肝などによるとされています。

ウイルス性肝炎は、肝炎ウイルスに感染して肝臓の組織が壊れていく病気です。C型肝炎ウイルスやB型肝炎ウイルスの持続感染から慢性肝炎の状態になると、炎症が続くことで肝臓の繊維化が進み、肝硬変や肝がんを発症しやすくなります。日本では肝がんの原因の約80%が肝炎ウイルスの持続感染といわれます。

肝炎ウイルスに感染しているながら、自分では知らない人や治療を受けて

検査無料 まずは受診を

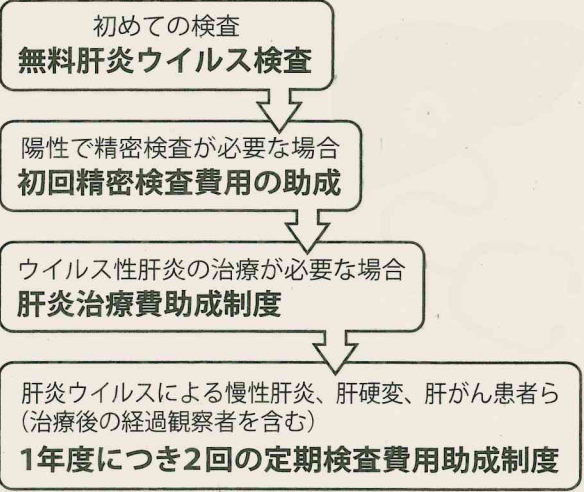


いない人が全国で130万~200万人います。厚生労働省や社団法人日本肝臓学会は、検診で肝炎ウイルス感染の有無を調べ、慢性肝炎などの場合は積極的な治療で肝

がんを予防する対策を進めています。

肝炎の検査と治療にはさまざまな助成制度があります。肝炎ウイルス検査は、採血だけで終わります。徳島県内では保健所や市町村の健診、県が委託している1333(2017年12月1日時点)の医療機関で無料検査が受けられます。肝炎ウイルスが陽性だった場合は、肝疾患専門医療機関を受診してください。専門的な血液検査のほか、エコーなど画像による検

ウイルス性肝炎に関する医療支援



治療の助成制度も充実

近年は、アルコール摂取量がほとんどない脂肪肝(非アルコール性脂肪肝炎)が原因で肝硬変、肝がんを発症するケースが増えていきます。糖尿病など生活習慣病との関連もあるようです。まずは医療機関を受診して検査することを勧めます。不安や疑問は徳島大病院肝疾患相談室(電話088(633)9002) (平日午前8時半~午後5時)に相談してください。

(第4土曜掲載)

がんに関する質問は 徳島がん対策センター (電話088(634)6442) (平日午前8時半から午後5時まで) へ。